消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

1.　事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2.　体験した事例の名称	火災現場における放水中のヒヤリハット
3.　体験した事例の中心的要素	木造建物火災での放水中、放水圧が高く筒先の保持が困難になった。
4.　体験した事例の原因・理由	通常訓練で実施している圧力と同じつもりで行動してしまった。火災現場ではいつもと違うことが起こることを認識できていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

1.　体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。

【体験した事例について】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

1.　発生日時	平成24年9月22日　午前4時頃
2.　発生した当時の天候	晴れ
3.　発生した活動現場	屋外：住宅地（建物敷地内）
4.　体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5.　事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6.　どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：ホースの暴れ
7.　事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8.　（7の活動中）どのような作業中に発生したか	放水活動
9.　同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者A	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○その他（当事者が4人以上の場合）	

11. 事例発生の経過。

	誰が（何が）	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	すでに先着していた車両から50mmホース1線を延長	
経過2	当事者A	放水開始	
経過3	当事者A	建物に1人保持で放水しようとしたところ放水圧が高く保持が困難となった	
経過4	当事者A	近くにいた他隊の隊員が圧力が高いことに気付き補助に入りその場を抑える。	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他 ：他隊の隊員がたまたま近くにいたため気付いてくれた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l. その他の理由があった。

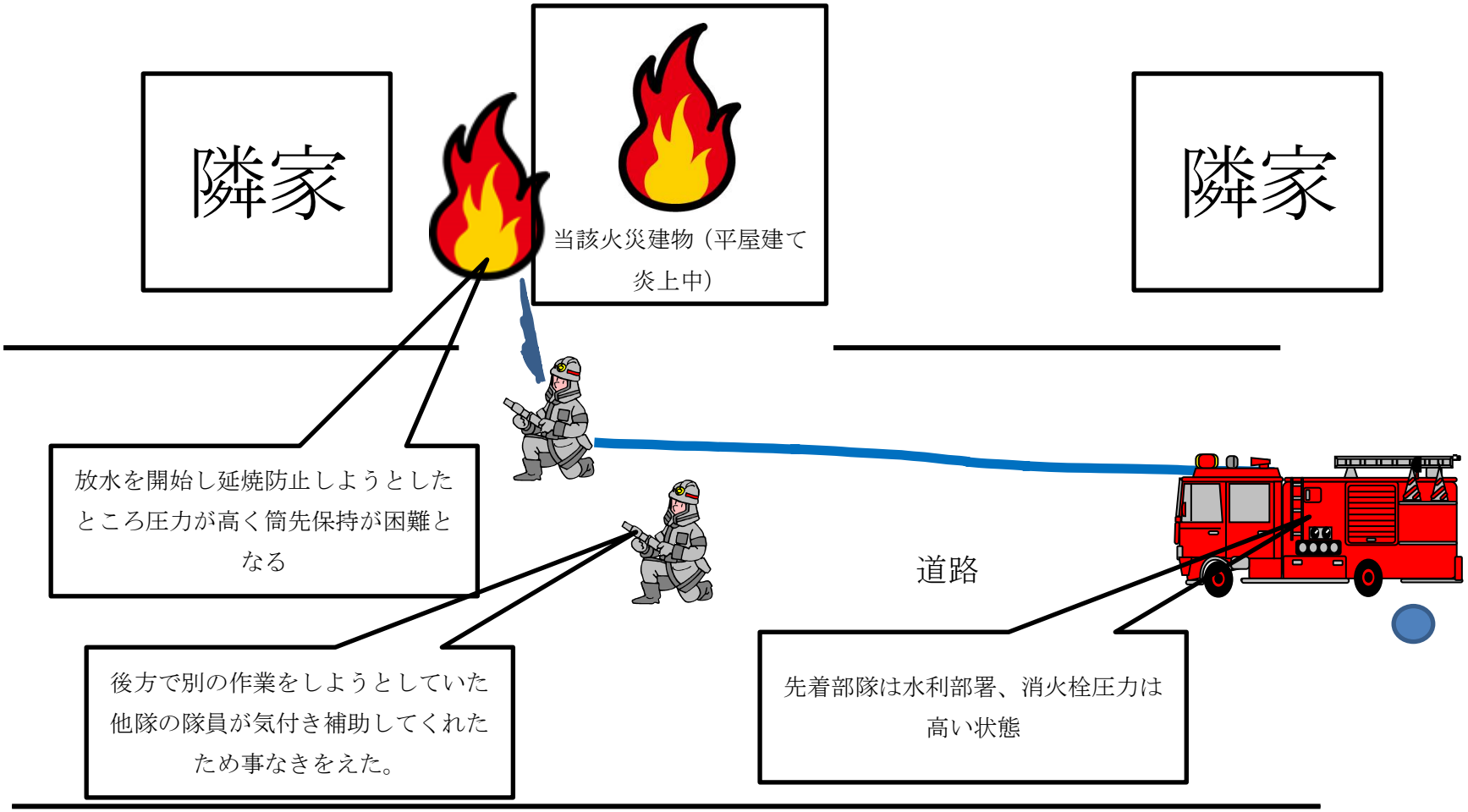
【事故発生後の取り組みについて】　●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇注意力欠如、焦り等の対策について

〇装備・資機材の対策について

〇活動環境の対策について

〇指揮・情報伝達の対策について


隣家
当該火災建物（平屋建て
炎上中）
隣家
放水を開始し延焼防止しようとしたところ圧力が高く筒先保持が困難となる
後方で別の作業をしようとしていた他隊の隊員が気付き補助してくれたため事なきをえた。
道路
先着部隊は水利部署、消火栓圧力は高い状態